

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成19年7月11日

評価対象年度：平成 19 年度				管理	5-13-1-1
事務事業名 浄化槽設置支援事業				部等名	企業局
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	上下水道課
	一般	01-040104004	細々目名		
政策体系	基本目標	5	安全・安心な環境のまちづくり		
	施策	13	生活排水処理設備（浄化槽等）の整備推進		
	基本事業名	1	合併処理浄化槽の措置推進		

事業概要	下水道認可区域外の市民に対する合併浄化槽設置時の補助（10人槽以下）を行う事業。				
実施内容	補助金交付申請受付事務 補助金申請書類の審査 補助金の交付事務（・5人槽 332,000円 ・6・7人槽 414,000円 ・8～10人槽 548,000円） 浄化槽の普及推進に関する事務				
根拠法令等	・浄化槽法 ・浄化槽設置整備補助金交付要綱		事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業	
			評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価	

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（ 年度 ~ 年度）			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役員費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	円	13 委託料	31,500 円	19 負担金補助及び交付金	22,890,000 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	22,921,500 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標	
・下水道の区域外で合併処理浄化槽未設置の市民 ・合併処理浄化槽		指標 (1)	名称 補助金の申請件数 式
手段（事業の具体的な内容、手順等）		指標 (2)	名称 合併処理浄化槽の設置台数（10人槽以下） 式
・補助金申請受付事務（申請件数59件） ・補助金交付事務（交付決定件数59件） ・浄化槽設置後の竣工検査 ・浄化槽設置台帳の管理 ・国、県への補助金申請等事務		成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標	
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）		指標 (1)	名称 補助金の交付決定割合 式 補助金交付者数/補助金申請者数
汲取り式トイレや単独槽（トイレの汚水のみを処理する方式）から、合併処理浄化槽に移行してもらう。		指標 (2)	名称
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか			
生活環境が改善されるとともに、公共用水域（河川・水路など）の生活雑排水による汚濁を防止する			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	件			59		
	活動指標 (2)	台					
	成果指標 (1)	%			100	100	
	成果指標 (2)						
投入量	事業内訳	国・県支出金	千円		15,577	18,606	
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円		7,345	9,304	
	事業費計 (A)	千円		22,922	27,910		
人件費	職員数	人			0.3	0.3	
	人件費平均額 (年)	千円			8,373	8,373	
	人件費計 (B)	千円			2,512	2,512	
総事業費 (A+B)	千円			25,434	30,422		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
合併処理浄化槽を設置する市民が増えてはいるが、市全体から見ると単独槽（トイレの汚水のみを処理する方式）を利用している市民の割合も高い。現在は、単独槽の設置は認められていない。
この事業に対して、関係者（市民・議会・事業対象者・利害関係人等）からどんな意見や要望が寄せられていますか？
下水道の認可区域に属している場合は、補助金の対象にはならない。下水道の管がすぐ近くまで来ていれば下水道に繋ぐことも可能であるが、そうでなければ市が行う工事を待つか、全額個人負担で合併処理浄化槽を設置するしか方法がない。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ
浄化槽の設置補助は、個人負担の軽減ばかりでなく、生活環境の改善や河川等の水質保全に結びついている。	河川等の水質保全という観点からすれば市が行うべきである。	この事業は、下水道の区域外で合併処理浄化槽を設置していない市民を対象としたものであり、合併処理浄化槽の設置は単独槽などからの移行が進んでいる証拠でもあるため、対象意図とも適当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】、改革改善案へ	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
合併処理浄化槽の設置を推進することで、河川や水路等の水質がより一層改善される。	合併処理浄化槽への移行が鈍化し、河川や水路等の水質の悪化が懸念される。	ただし、合併処理浄化槽維持管理支援事業と一体的に取組んでいかないと、効果（水質保全など）は期待できない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】、改革改善案へ <input type="checkbox"/> 無 【理由】
申請に基づき設置補助金を行っている事業であり適正である。		補助金申請から交付額決定までの一連の事務処理及び竣工検査もあって、削減の余地はない。
下水道区域及び農業集落排水事業の区域は補助の対象外である。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 市全体としては、まだまだ汲取り式トイレや単独槽の利用者が多いのが現状である。生活環境の改善、水質保全の観点から、合併処理浄化槽への積極的な移行を推進しているが、多額の経費を要することから、なかなか進んでいない。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来の通りで特に改革改善しない）	(5) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要 ・合併処理浄化槽設置補助金の制度をもっと市民に周知するとともに、利用の推進を図る。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策 ・合併処理浄化槽の設置には多額の費用を要することから、市からの補助があっても個人負担が多い。 ・自ら環境を守るんだという市民のモラルに頼る部分が大い。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	(2) 評価結果の根拠と理由																					
(3) 今後の事業の方向性（改革改善案） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来の通りで特に改革改善しない）	(4) 改革・改善による期待成果 廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						